

令和5年度

教職員研修 講座開設一覧

三条市教育センター

I 小中一貫教育研修

1 基礎研修【転入・新任者のための小中一貫教育の理解を深める研修】

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・教育相談	ICT活用			
小中一貫教育基礎研修	○					【悉皆】 市内転入・新採用教職員	4月14日(金)面識式で実施	小中一貫教育導入の背景、三条市の子どもたちの実態、小中一貫教育導入までの経緯、三条市の小中一貫教育とは、小中一貫教育の取組の例、成果と課題

2 実践研修

(1) 小中一貫教育を通して学力の向上を目指す研修

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・教育相談	ICT活用			
授業スタンダード理解研修		○				市外からの転任教職員	5月26日(金)までに 自校でオンデマンド研修	各自が、①研修用資料を読み進める。②1時間の授業を構想し研究主任に見てもらう。③研修の報告をGoogle Formsに入力して行う。※書かれた主な質問事項については教育センターから後日見解を示す。
算数・数学指導力向上研修①(実践編)		○				【悉皆】 市内教職員、各学校1名以上	7月26日(水) 14:30～16:20 オンライン	実践研究が豊かな小中学校現職教員を講師に、算数・数学の学力向上を目指し算数・数学の授業づくりの具体的なアイデアを学ぶとともに、参加者の実践について情報を交換する。
算数・数学指導力向上研修②(理論編)		○				【悉皆】 市内教職員、各学校1名	8月29日(火) 14:30～16:30	新潟大学 阿部好貴准教授を講師に、算数・数学の学力向上を目指し数学的活動に基づく学習指導法を学ぶ。
外国語指導力向上研修①(基礎研修)		○				【悉皆】 市内教職員、各学校1名以上	5月16日(火)小学校対象 5月23日(火)中学校対象 14:30～16:30	新潟大学 松沢伸二教授を講師に、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを通して、「話すこと」「書くこと」の資質・能力の育成を図るための学習指導方法や評価について学ぶ。
外国語指導力向上研修②(授業実践研修)		○				市内各学園教職員	5月～11月 5回	児童・生徒の英語・外国語の関心や意欲を高め、学力向上を図ることを目指し、学園ごとに授業の構想・実践・協議を行うことを通して、英語・外国語の授業力を磨く。授業公開校は学園裁量で決定し、公開する。
教科指導研修(国語)		○				国語科担当教職員・研究主任、 各学校1名以上	7月27日(木) 14:30～16:20 オンライン	本年度は国語科の指導法について研修する。実践研究が豊かな小中学校現職教員を講師に、特に「書くこと」の指導に焦点付ける。習得・活用の視点から指導法を学ぶ。
全国学力・学習状況調査分析研修		○				市内教職員(研究主任、教科主任)	～10月 自校での研修	各学校は、①教育センターからの「分析シート(エクセル)」に結果を入力する。②①の結果及び国立教育政策研究所からの「学習指導の改善・充実に向けた説明会資料・説明動画」を使って校内で研修する。③校内研修の報告をGoogle Formsに入力して行う。
学習指導要領理解研修		○				市内教職員、各学校1名以上	6月23日(金) 14:30～16:30 オンライン	東京大学 一柳智紀准教授を講師に、「主体的・対話的で深い学び」の視点からこれまでの授業を振り返り、これからの授業づくりに生かす。

(2) 小中一貫教育を通して豊かな人間関係を目指す研修

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての 業績	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 教育相談	ICT活用			
生徒指導研修・適応指導事業説明会			○	○		【悉皆】各学校1名以上 生徒指導・不登校支援担当者や 研修内容に興味のある市内教職員	5月9日(火) 14:00～16:30	いじめ・不登校等生徒指導上の事案の理解とその対応、新しい生徒指導提要について学ぶ。 (講師:中越教育事務所 生徒指導担当指導主事) 「生徒指導上の諸課題における現状と課題、生徒指導提要について(仮)」 適応指導事業説明(25分程度)
不登校児童生徒への対応力向上研修			○	○		不登校支援担当者や研修内容に興味のある市内教職員 (1回目は各校1名以上の参加。 2回目は自由参加。)	7月4日(火) 15:00～16:30 8月4日(金) 9:30～11:50	家族理解を基に、不登校の予防・初期対応のあり方、児童生徒に合わせた対応、保護者対応、関係機関との連携等のコーディネートのある方を学ぶ。 1回目:カンファレンスシートの理解と代表事例の検討。主に指導経験の浅い教職員を対象とする。 2回目:各校の事例について、対応のあり方について意見交換。
道徳科授業研修	○	○				市内教職員	9月27日(水) 15:00～16:30 オンライン	実践研究が豊かな中学校現職教員を講師に、道徳科の授業のあり方について研修する。
Q-U研修① (学級経営理論研修)	○		○	○		市内教職員、各学校1名	5月下旬 15:00～16:40	外部講師(田村和弘氏)から学級経営の理論とQ-Uの分析の仕方について学ぶ。
Q-U研修② (人間関係づくり研修)	○		○	○		市内教職員、各学校1名	7月下旬 15:00～16:40	外部講師(田村和弘氏)からQ-Uのデータを活用した人間関係づくりの方法の実際(エンカウンター、ソーシャルスキル・トレーニング)について学ぶ。

(3) 小中一貫教育の視点を生かした各種教育研修

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・教育相談	ICT活用			
ICT教育研修①		○			○	市内教職員、各学校1名	8月1日(火) 14:30～16:00 オンライン	外部講師からプログラミング教育が求められる背景と基本的な内容について体験を通して学ぶ。教育センターと各学校とでZoomを通じて実施する予定。端末2台必要。
ICT教育研修②		○			○	市内教職員、各学校1名	11月10日(金) 15:30～16:30 オンライン	市内の1人1台端末を活用した授業実践事例や学習者用デジタル教科書の活用事例等を共有し、ICTを活用した授業づくりのアイデアについて学ぶ。
環境教育研修	○					市内教職員	5月25日(木) 15:00～16:30	エコクラス等三条市の環境政策についての理解を深め、環境教育の充実を図る。また、三条市清掃センターと環境啓発施設「かんきょう庵」を見学することで、行政と連携した環境教育を推進する。
防災教育授業研修 (授業研究)	○					市内教職員	10月18日(水) 四つ葉学園	四つ葉学園を令和5年度の重点実施学園として指定。 新潟県防災教育プログラム等による授業公開を行い、全校が防災教育の自校化を推進する。
特別な教育課程に基づく授業づくり研修①				○		市内教職員	5月18日(木) 15:00～16:30	月ヶ岡特別支援学校教員を講師として、特別支援学級における特別な教育課程の基本や個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成と活用、評価について研修する。
特別な教育課程に基づく授業づくり研修②				○		市内教職員	7月25日(火) 14:30～16:30	月ヶ岡特別支援学校教員を講師として、自立活動をはじめとする特別支援学級における特別な教育課程の具体的な指導について学び、参加者と情報交換をしながらより良い授業づくりについて研修する。
インクルーシブ教育システム研修				○		市内教職員	6月6日(火) 14:30～16:30	上越教育大学 関原真紀准教授を講師に、インクルーシブ教育システムの構築や合理的配慮、ユニバーサルデザインについて学び、どの児童生徒にも学びやすく、分かりやすい授業づくりに生かす。
関係機関との連携研修				○		市内教職員	8月7日(月) 14:00～16:30	支援を要する子どもについて、市内の福祉サービスや関係機関への接続、子ども・若者総合サポートシステム等について研修する。栄庁舎3階子ども発達ルームの見学と専門的指導についての研修も行う。
特別な配慮に基づく児童生徒の支援研修				○		市内教職員	9月19日(火) 14:30～16:30	新潟大学教職大学院 長澤正樹教授を講師に、通常の学級での特別な支援を要する児童生徒、特別支援学級の児童生徒を中心に的確な実態把握に基づく指導や支援について研修する。
学習活動に困難のある子どものアセスメントと支援研修		○		○		市内教職員	11月21日(火) 14:30～16:30	加茂市立石川小学校 校長 古田島恵津子氏を講師に、特別支援学級、通常の学級で読み書き、計算等に困難がある子どもの実態の捉え方や具体的な指導方法について研修する。
性的マイノリティ理解研修	○		○	○		市職員(教職員も視聴可能)	期日未定(動画配信形式)	性的マイノリティへの理解を促進するために必要な知識や考え方を学ぶ機会として、講師を招き講演をいただく。

(参考:教育センター研修と関連した特別支援教育研修)

特別支援教育支援員研修会(三南特支協主催)				○		三条市特別支援サポーター・加茂・田上・見附市特別支援教育指導員等	7月21日(金) 午後 体育文化会館	県立教育センター指導主事を講師として、特別支援サポーターの行う支援について学ぶ。
特別支援教育講演会(発達応援セミナー:市特教主催)				○		市内幼保小中教職員・特別支援サポーター、特別支援学校職員、田上・加茂・見附教職員	7月24日(月)～8月25日(金) 動画配信形式	国立成育医療研究センター 小枝達也氏を講師に、発達障害のある子どもの理解と支援について講演をいただく。

2 充実発展研修

(1) マネジメント研修

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての 素養	学習指導	生徒指導	育・教育相談 特別支援教	ICT活用			
マネジメント研修	○					小中一貫教育推進リーダー、小中一貫教育推進コーディネーター、管理職等	5月31日(水) 15:00～16:30	小中一貫教育推進の重点及び学力向上について、各学園・学校の取組を情報交換し、自学園・自校の取組に生かす。

(2) コミュニティ・スクール研修

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての 素養	学習指導	生徒指導	育・教育相談 特別支援教	ICT活用			
CSディレクター研修①	○					市内教職員、管理職等 学校運営協議会事務局委員	6月7日(水) 15:30～16:40 教育センター	市内各学園・学校の今年度の取組の方向について情報交換などをし、コミュニティ・スクールについて研修する。
CSディレクター研修②	○					市内教職員、管理職等 学校運営協議会事務局委員	2月22日(木) 15:30～16:40 教育センター	市内各学園・学校の今年度の取組の成果と課題について情報交換などをし、コミュニティ・スクールについて研修する。
コミュニティ・スクール研修	○					市内教職員 学校運営協議会委員	11月14日(火) 15:00～16:40 教育センター	指導者を招き、コミュニティ・スクールの取組について研修する。

II 教職員支援研修

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての 素養	学習指導	生徒指導	育・教育相談 特別支援教	ICT活用			
授業力向上実践研修 (Step1及び関連事業)		○		○		教諭 採用2年目～5年目	5月～2月 ガイダンス1回学習会4回 (紙面研修2回、 オンライン研修3回) 研究授業1回	教材研究及び「三条市授業スタンダード」に基づいた構成、9年間の学びを意識した小中一貫教育カリキュラム等の授業づくりの基礎を学び、授業実践に取り組む。その成果を、授業づくり実践記録としてまとめる。ガイダンス(紙面研修)5月、第1回学習会6/29(木)、第2回学習会(紙面研修)8月上旬、第3回学習会(個別学習会含む)8/24(木)、第4回学習会(個別)11/27(月)～12/5(火)のうち1日
授業力向上実践研修 (Step2及び関連事業)		○		○		教諭 採用7年目～10年目	5月～2月 ガイダンス1回学習会4回 (紙面研修2回 オンライン研修3回) 研究授業1回	学習指導上の課題解決に向け、研究仮説を設けて授業実践に取り組むことで指導力の向上を図る。研究の成果を教育研究論文にまとめる。ガイダンス(紙面研修)5月、第1回学習会6/27(火)、第2回学習会(紙面研修)8月上旬、第3回学習会(個別学習会含む)8/22(火)、第4回学習会(個別)11/27(月)～12/5(火)のうち1日

Ⅲ 刃物・ものづくり教育推進事業

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員として の 業績	学習指導	生徒指導	特別支援教 育・教育相談	I C T 活用			
三条学講座① 「郷土の偉人 諸橋轍次博士」	○	○				・市内教職員希望者(全講座) ・【推薦】第1回、第3回、第4回、第5回、第6回については、各学園で1名以上の教職員を推薦(三条市勤務が初めての教職員や校務分掌に関連する教職員を優先的に推薦する)	6月2日(金) 15:00～16:30 諸橋轍次記念館	「大漢和辞典」の編者 諸橋博士は郷土の誇り。「諸橋轍次記念館」で博士の遺品や遺墨等に接し、博士の偉業や人となりについて学ぶ。
三条学講座② 「包丁研ぎの実習」	○	○					8月2日(水)・3日(木) ①9:00 ②10:30(①②を選択) 三条鍛冶道場	切れ味の悪くなった自宅の包丁や学校の家庭科用包丁等を持ち寄って、包丁研ぎの実習を通して正しい包丁の研ぎ方を身に付ける。
三条学講座③ 「和釘づくりの実習」	○	○					8月4日(金) ①9:00 ②10:30(①②を選択) 三条鍛冶道場	鉄を赤く熱する・叩いて伸ばすという日常生活にはない鍛冶体験で、伊勢神宮にも使われている三条の「和釘」をつくることを通して、ものづくりの楽しさ・奥深さを味わう。
三条学講座④ 「三条鍛冶の歴史」	○	○					9月14日(木) 14:30～16:30 下田郷資料館	石器時代からつながる三条のものづくりの歴史を遺跡や出土品、三条鍛冶の発祥、三条和釘の隆盛、鍛冶專業職人と三条金物商人などに触れながら学ぶ。
三条学講座⑤ 「三条刃物について講義・実演」	○	○					9月26日(火) 14:30～16:30 三条鍛冶道場	鉄と鋼の違いや刃物づくりの工程・温度管理等について名工鍛冶職人の講義を聞き、「鍛接」等普段は見ることのできない迫力ある名人技を参観、一部体験する。
三条学講座⑥ 「秋の大崎山をたずねて」	○	○					10月11日(水) 14:30～16:30 大崎山	自然豊かな秋の大崎山を散策しながら、木の実や種、草花を見付け、それらを使った遊び方を教わったり、大崎山(永明寺山)の歴史(皆既日食碑)に触れたりしながら秋の自然を満喫する。
三条学講座⑦ 「包丁づくりの実習」	○	○					11月11日(土)三条鍛冶道場 ①9:00 三徳包丁 ②13:00 ペーパーナイフ (①②を選択)	「三徳包丁・ペーパーナイフ」からつくりたいものを1つ選び、三条が誇る名工(伝統工芸士)の手ほどきを受けながら「世界で一つの・自分だけの・実用的な」刃物をつくることを通して、ものづくりの楽しさ・奥深さ、三条の刃物づくりのすばらしさを味わう。
和釘づくり学習	○	○				小学校・大崎学園(前期)児童、学年・学級担任	6月～12月(予定) 各校1回 三条鍛冶道場	三条鍛冶道場で、三条の和釘・刃物・金物の歴史を学んだり、「階折釘」等の和釘を実際につくる体験をしたりする。三条の職人技を実感する。
小刀学習	○	○					6月～12月(予定) 各校1～2回 各学校	切り出し小刀の正しい使い方を学び、「鉛筆削り、竹とんぼづくり、竹箸づくり」等を行う。
包丁研ぎ学習	○	○				中学校・大崎学園(後期)生徒、担当者	6月～12月(予定) 各校1回 各学校	包丁の種類や正しい研ぎ方を学び、中砥石を使って包丁研ぎを体験する。 ※使用した砥石は生徒へのプレゼントとなる。家庭で包丁研ぎに活用してもらおう。 ※使用する包丁は、家庭の物を使用する場合は、生徒が持ち運ばないように行う。
木工用工具学習	○	○					5月下旬～12月(予定) 各校1回 各学校	のこぎり、かんなど木工用工具の正しい使い方を学習し、木材を切る・削る等の体験をする。三条の職人技を実感する。

IV 科学教育推進事業

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員として の 業務	学習指導	生徒指導	特別支援教 育・教育相談	I C T 活用			
子どもの科学教室 「生物教室」	○	○				児童30名 活動支援者5名	6月10日(土) 大崎山公園	～大崎山の生きものをさぐる～ 事象に直接触れる活動を通して自然認識と科学的な見方・考え方を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
子どもの科学教室 「物理教室」	○	○				児童30名 活動支援者5名	7月8日(土) 科学教育センター	～音のひみつをさぐる～ 事象に直接触れる活動を通して自然認識と科学的な見方・考え方を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
子どもの科学教室 「地学教室」	○	○				児童30名 活動支援者5名	10月7日(土) 寺泊、出雲崎方面	～寺泊と出雲崎の大地をさぐる～ 事象に直接触れる活動を通して自然認識と科学的な見方・考え方を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
子どもの科学教室 「星空教室」	○	○				児童30名 活動支援者5名	10月19日(木) しらすぎ荘 ※予備日20日(金)	～秋の星空をさぐる～ 事象に直接触れる活動を通して自然認識と科学的な見方・考え方を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
子どもの科学教室 「化学教室」	○	○				児童30名 活動支援者5名	11月11日(土) 科学教育センター	～溶ける現象をさぐる～ 事象に直接触れる活動を通して自然認識と科学的な見方・考え方を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
第1回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	6月24日(土) 科学教育センター	科学・模型工作の活動を通して、科学的なものの見方と考え方で製作活動に取り組む態度を個育てる。 もの作りを通して、発想豊かに、自分らしさを表現する感性を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。 (指導者：科学教育センター特別指導主事、教育センター指導主事)
第2回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	7月29日(土) 科学教育センター	
第3回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	9月2日(土) 科学教育センター	
第4回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	9月30日(土) 科学教育センター	
第5回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	11月18日(土) 科学教育センター	
第6回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	12月16日(土) 科学教育センター	
第18回 わくわく科学フェスティバル	○	○				児童・生徒・一般400名 指導者・活動支援者100名	8月21日(月) 三条市体育文化会館	自然の不思議に直接ふれ、科学実験や工作等を通して身近な自然事象や科学技術に興味・関心を向けて、 好奇心や探究心を高める体験を、広く児童生徒に提供する。 指導や支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
第18回 科学ゼミナール	○	○				第一中学校生徒 第三中学校生徒 栄中学校生徒	10月2日(月) 第一中学校 10月3日(火) 第三中学校、栄中学校	先進的な科学技術に関する講演会を通して、広く科学的な素養を身に付ける。また、専門家の生き方にも触れ、自分の将来や生き方について考える一助とする。 科学に関する研究開発で社会に貢献する人の生き方や考え方にふれ、科学教育・キャリア教育について研修する。